

消防予第362号
平成29年12月1日

各都道府県消防防災主管部長
東京消防庁・各指定都市消防長
各消防本部消防長 } 殿

消防庁予防課長
(公印省略)

厨房における火災予防の広報用映像の制作・送付について

貴職におかれましては、平素から消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび消防庁では、飲食店における火災予防の促進を図るために、厨房における火災予防の広報用映像を下記のとおり制作しました。

本映像は、本編（14分）、ダイジェスト編（3分）、スポット広告編（30秒）となっており、各消防本部において自由に御使用いただけます。

今回、本映像を収録したDVDと合わせて厨房における火災予防のチェックリストを送付いたしますので、歳末における火災予防指導等の機会を捉えて、飲食店における火災予防の促進に御活用いただきますようお願いいたします。

なお、別添1、2のとおり、消防庁から一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟及び同連盟の会員事業者に対して、本映像の放映協力を依頼しています。各消防本部におかれましても、飲食店に対する火災予防広報を行う際には、適宜、地元ケーブルテレビ事業者等と連携した飲食店における火災予防広報に努めていただきますようお願いいたします。

記

1 厨房における火災予防の広報用映像の内容

昨年12月に発生した糸魚川市大規模火災では、飲食店の大型こんろの消し忘れが原因で火災となりました。飲食店で起こる火災の主な発火源は「こんろ」であり、その経過は、「消し忘れ」、「過熱」、「可燃物の接触」といった人的なものが多く、これらの火災の原因を厨房に潜む危険として把握し、厨房で起こる火災を予防することを広報する内容です。

2 厨房における火災予防の広報用映像のフォーマット規格

(1) MXF形式（ケーブルテレビ用規格）

(2) MOV・MPEG-4 形式

(3) DVD形式

※ 厨房における火災予防の広報用映像は、消防庁のホームページ及び総務省動画チャンネルで公開しています。

・消防庁のホームページ（ダウンロード可能）

https://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/materials/

・総務省動画チャンネル

<https://www.youtube.com/user/soumuchannel>

3 厨房における火災予防の広報用映像の活用例

(1) 歳末における火災予防指導等での活用

(2) 防火・防災管理講習等での活用

(3) ケーブルテレビをはじめとするテレビでの活用

(4) 街頭等の大型ビジョンでの活用

(5) ホームページ上での活用（ストリーミング配信等）

4 厨房における火災予防の広報用映像の編集等

本映像のうち2(2)及び(3)の形式は、市販のビデオ編集ソフト等により編集できる仕様としており、各消防本部においてケーブルテレビ放送やストリーミング配信等を実施するに当たり、消防本部名の挿入や映像の切り取り等が可能です。編集に当たっての消防庁の許可等は必要ありませんので適宜、御活用下さい。

なお、本映像を活用された場合は、下記連絡先まで御一報頂きますよう、よろしく願いいたします。

5 関係団体との連携

消防庁では、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟の御協力により、同連盟と会員事業者を結ぶAJC-CMS（オンラインシステム）に本映像（2(1)）を保存し、適宜、放映できるよう連携を図っており、各消防本部において地元ケーブルテレビ事業者へ放映を依頼される際には、当該保存映像を活用することが可能です。

【連絡先】 消防庁予防課

担当 恵崎・柏原・岡崎

T E L 03(5253)7523

F A X 03(5253)7533

E-Mail k2.okazaki@soumu.go.jp

別添 1

消防予第 3 6 2 号
平成 29 年 12 月 1 日

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
事務局長 森田 昌克 様

消防庁予防課長

厨房における火災予防の広報用映像の放映等について（依頼）

寒冷の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より、消防行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年 1 2 月に発生した糸魚川市大規模火災では、飲食店の大型こんろの消し忘れが原因で火災となりました。全国では、毎年 2 万件前後の建物火災が発生しており、平成 2 8 年は 20, 991 件の火災が発生しております。建物火災の原因別件数をみると、放火や原因不明を除くと「こんろ」が 3, 090 件と最も多くなっており、用途別出火件数をみると「飲食店」が最も多いことがわかります（住宅と複合用途を除く）。

このため、消防庁では、飲食店における火災予防の更なる促進を図るため、下記のとおり厨房における火災予防の広報用映像を制作しましたので、本映像の放映について格段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【内 容】昨年 1 2 月に発生した糸魚川市大規模火災では、飲食店の大型こんろの消し忘れが原因で、火災となりました。飲食店で起こる火災の主な原因は「こんろ」であり、その詳細な原因としては、「消し忘れ」、「過熱」、「可燃物の接触」といった人的なものが多く、これらの火災の原因を厨房に潜む危険として把握し、厨房で起こる火災を予防することを広報する内容です。

【時 間】本編 1 4 分版（日本語字幕なし・あり）
ダイジェスト編 3 分版（日本語字幕なし・あり）
スポット広告編 3 0 秒版（日本語字幕なし・あり）

【放映期間】 通年

【問い合わせ先】
消防庁 予防課 予防係
担当：柏原、岡崎

TEL : 03-5253-7523（直通）
FAX : 03-5253-7533
E-mail:k2.okazaki@soumu.go.jp

別添2

消防予第362号
平成29年12月1日

一般社団法人
日本ケーブルテレビ連盟事業者 御中

消防庁予防課長

厨房における火災予防の広報用映像の放映等について（依頼）

寒冷の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より、消防行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に発生した糸魚川市大規模火災では、飲食店の大型こんろの消し忘れが原因で火災となりました。全国では、毎年2万件前後の建物火災が発生しており、平成28年は20,991件の火災が発生しております。建物火災の原因別件数をみると、放火や原因不明を除くと「こんろ」が3,090件と最も多くなっており、用途別出火件数をみると「飲食店」が最も多いことがわかります（住宅と複合用途を除く）。

このため、消防庁では、飲食店における火災予防の更なる促進を図るため、下記のとおり厨房における火災予防の広報用映像を制作しましたので、本映像の放映について格段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【内 容】昨年12月に発生した糸魚川市大規模火災では、飲食店の大型こんろの消し忘れが原因で、147棟が延焼する火災となりました。飲食店で起こる火災の主な原因は「こんろ」であり、その詳細な原因としては、「消し忘れ」、「過熱」、「可燃物の接触」といった人的なものが多く、これらの火災の原因を厨房に潜む危険として把握し、厨房で起こる火災を予防することを広報する内容です。

【時 間】本編 14分版（日本語字幕なし・あり）
ダイジェスト編 3分版（日本語字幕なし・あり）
スポット広告編 30秒版（日本語字幕なし・あり）

【放映期間】通年

【問い合わせ先】

消防庁 予防課 予防係
担当：柏原、岡崎

TEL : 03-5253-7523（直通）

FAX : 03-5253-7533

E-mail:k2.okazaki@soumu.go.jp

あなたのお店、 厨房は大丈夫？

チェック ポイント

✓ 火をつけたまま、 その場を離れない

- ・煮込みや出汁取りなどの長時間調理の間、その場を離れたりしていませんか？
- ・絶対に離れないでください。



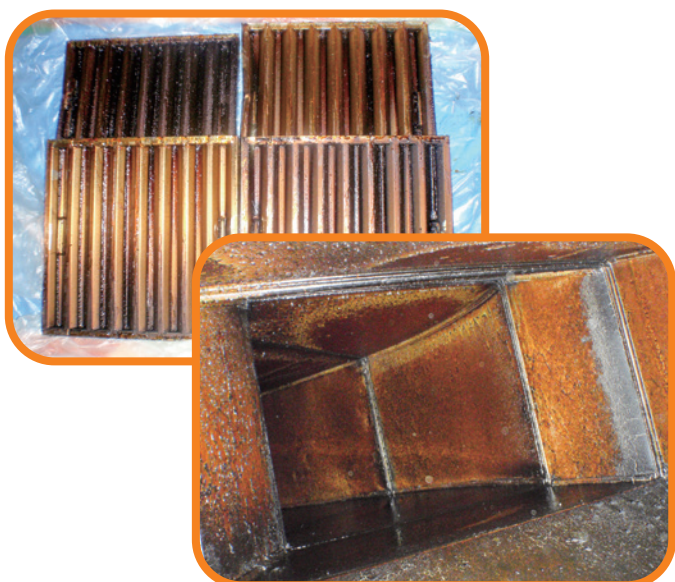
✓ こんろは壁から離しましょう

- ・通るのに邪魔になると、こんろを奥にずらしていませんか？
- ・こんろと比べて大きすぎる鍋を使っていますか？
- ・壁から距離を十分に離しましょう。
- ・壁に炎が当たっていたら確実に危険です。



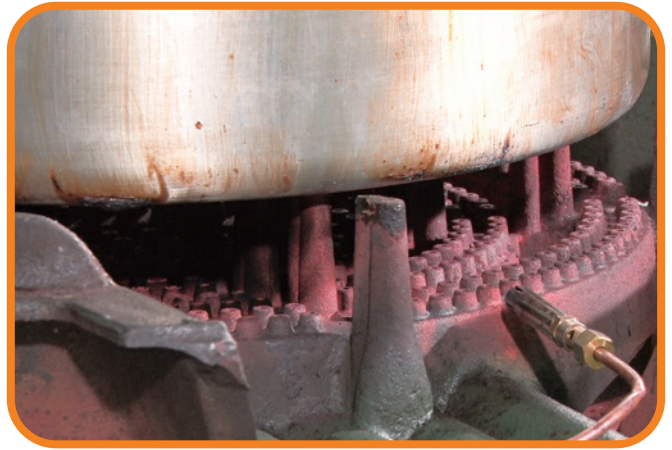
✓ グリスフィルターやダクトは きちんと清掃をしましょう

- ・汚れるから、吸い込みが悪いからと、グリスフィルターを外していませんか？
- ・グリスフィルターはきちんと取り付けましょう。
- ・ダクト・グリスフィルターは、定期的
にきちんと清掃しましょう。
- ・定期的に専門業者に点検・清掃してもら
うことも有効です。



✓ 機器を定期的に点検しましょう

- 火のつきが悪いのに無視して使っていませんか？
- 定期的に点検又は機器がおかしいと思ったら専門業者に点検してもらうことも必要です。



✓ こんろ周りに 可燃物を放置しない

- 周りに物を置きっ放しにいませんか？
- 使いやすいから、面倒だからと可燃物を放置せず、整理整頓を心がけましょう。



✓ 火事が起きたら消火器で消しましょう

- 火事が起きたら、まず消火器で火を消しましょう。
- 確実に消火するには、強化液消火器が有効です。
- 消火後はガスの元栓を閉めてください。

水消火



水で消火すると、周囲に油が飛び散って大変危険です。水分の多い野菜等を入れても同様に危険です。

粉末消火器



窒息効果で消火するので、再発火の可能性があります。消火器に充填された薬剤を最後まで放射してください。

強化液消火器



粉末消火器と比べて冷却効果が見込まれるため、有効に消火できます。事後もふき取るだけです。